

「全国標準積算資料 土質調査・地質調査 平成 25 年度改定歩掛版」について

表記資料（通称「赤本」）が 2013（平成 25）年 9 月 17 日に発行されました。平成 23 年に部分改訂されていますが、本格的な改定は 5 年ぶりです。

今後の改定は、これからの市場動向などを考慮して 2～5 年後に行う予定になっています。

今回の改定で大きく変わったのは、コンサルティング業務の積算構成です。技術経費や諸経費は廃止され、業務価格は業務原価（新称）と一般管理費に二分されました。業務原価というのはこれまでの直接業務費に相当するもので、直接原価と間接原価に分かれます。ただし、この新しい積算構成による業務価格は、これまでの積算構成の業務価格と同じになるように直接人件費やその他原価、一般管理費に振り分けています。

平成 23 年度積算資料では、CD に収録されていた室内試験などは、**「全地連 HP の積算関連＞〔赤本〕 土質調査・地質調査 改訂歩掛版（積算 Q & A、購入者専用 HP など）＞赤本購入者専用ホームページ」**に掲載されています。

「赤本」には目次としては載っていますが本文は掲載されていないので、「赤本購入者専用ホームページ」からダウンロードすることになります。

公共事業の川上側の業務である地質調査の精度は、構造物などの供用後の維持管理までも大きく影響する重要な要素です。「赤本」を作成した大きな目的の一つは「適正価格による良い成果」を出すことです（本資料 iii ページ）。

これまでの、「赤本」に寄せられた要望を取り入れての大幅な改定となった本資料が活用され、経済的で信頼性の高い社会資本整備に貢献することが期待されます。

本資料は、当協会にメールまたはファックスすれば注文できます。ホームページ左の欄をご覧ください。